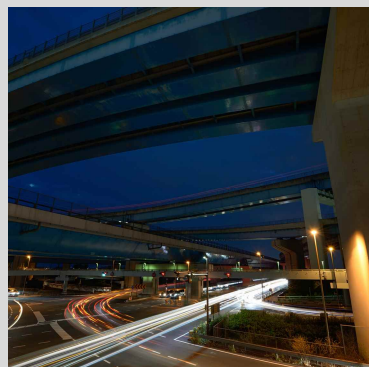


くみ
やま
ちよう
久御山町

企業版ふるさと納税

くみやまモデルの

『地域共生社会』をつくる



<はじめに>

地域経済の活性化、地域における雇用機会の創出、その他の地域の活力の再生を総合的かつ効果的に推進するため、地方公共団体が行う自主的な取組を国が支援しています。

本町は、地域再生計画を作成し、内閣総理大臣の認定を受けており、企業版ふるさと納税として寄附いただける企業を募集しています。

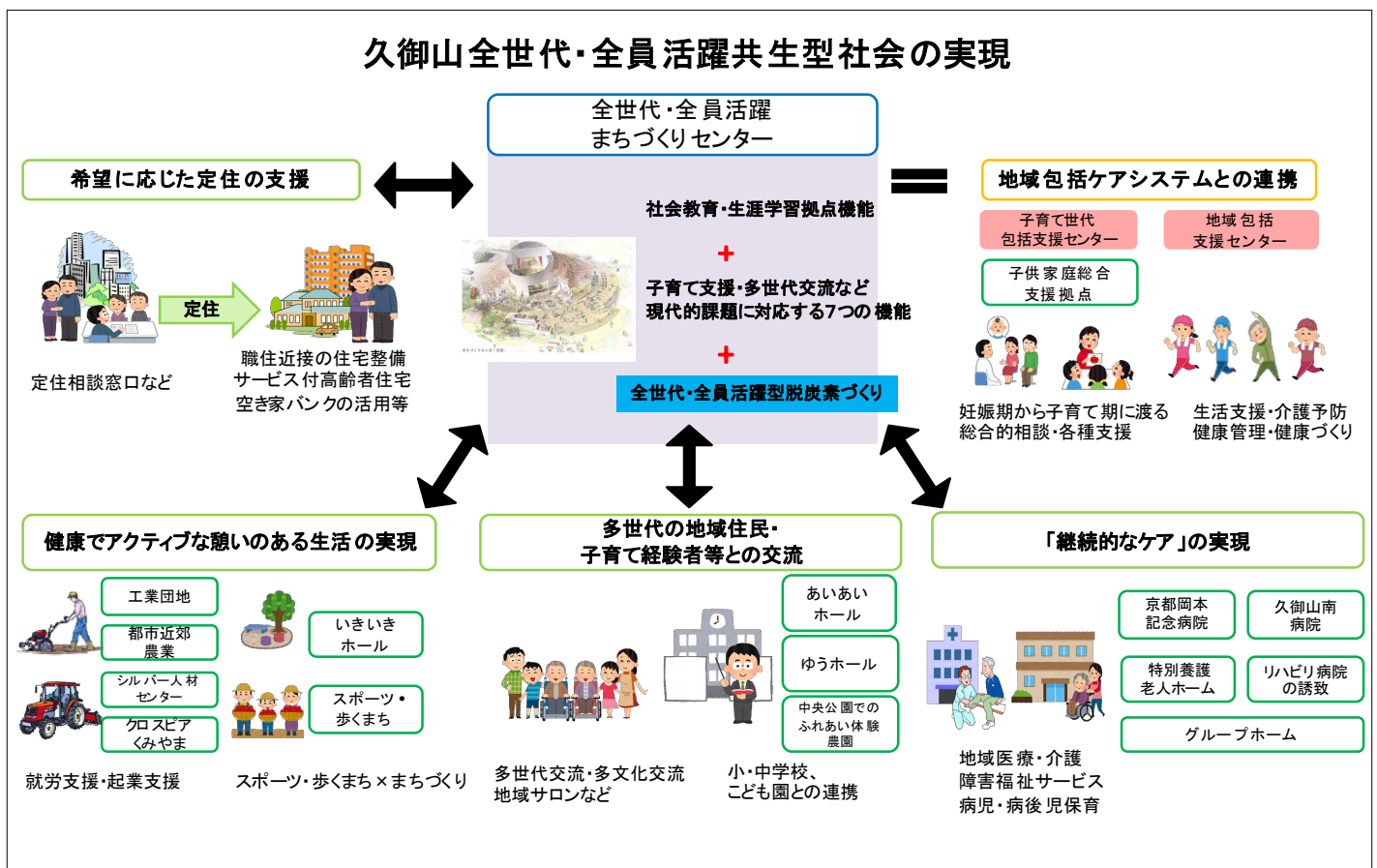
『全世代・全員活躍のまち推進プロジェクト』 ～6つの目標を達成するための横断的プロジェクト～

本町では、あらゆる世代の住民が、「居場所」と「役割」を持ってつながり、交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができ、若年層をはじめ、障害者など誰もが地域で働く場を確保し、子育て世代が安心して出産・子育てできる地域づくりを推進することにより、久御山モデルの「地域共生社会」を実現することを基本理念とする「全世代・全員活躍型『生涯活躍のまち』構想～夢いっぱいコンパクトタウンくみやまCCAC構想～」を策定しています。本町の地域再生計画に掲げた「1 町内定住の促進」、「2 産業活力の発揮」、「3 くみやま魅力発信」、「4 少子化対策と子育て支援」、「5 住民や企業との協働と連携」、「6 安全・安心に向けて」の6つの目標を達成するため、**4つの横断的プロジェクト**（P3～P6記載）に取り組み、企業の皆様とともに久御山モデルの地域共生社会の実現を目指します。

なお、記載の想定事業費はあくまでも現時点（令和5年3月）のものであり、今後事業費を確定していきたいと考えています。



詳細は町公式HP
をご覧ください



(1) 全世代・全員活躍まちづくりセンター整備プロジェクト

(町内定住の促進など全般)

つながる・憩う・支え合う～いつもといつかのよりどころ～

ひと・まちの結びめ、

丘の上の丸屋根



まちづくりセンターのイメージ図

～設計対話の様子～住民のみなさんの意見を聞きながら整備を進めています



想定事業費：20億円（建設事業費）

7,000万円／年（運営費）

着工：令和5年度～

完成：令和7年度（予定）

＜7つの機能を持つセンターを整備＞

- 1 子育て支援
- 2 多世代の活動支援
- 3 生涯学習・環境充実
- 4 多世代交流・多文化交流
- 5 社会福祉との連携・協働
- 6 防災拠点
- 7 文化財保護・活用

施設が完成すれば、企業の皆様も利用できます！

①施設内の会議室の利用

企業の会議・研修会・集会などを開催

②従業員の憩いの場所

休み時間や勤務外時間に寄れる居場所

③非常事態の緊急避難場所

地震や水害など、いざというときの避難場所

誰もが活躍できるまちづくりの「拠点」としての整備を応援いただける企業を募集します！

【寄附金の使途】全世代・全員活躍まちづくりセンターの整備・運営に係る費用

【寄附企業への貢献】施設付近に企業名をデジタルサイネージ等で明示 など

事業の詳細は町公式HPをご覧ください



第2期久御山町総合戦略におけるSDGs開発目標

【学びと憩いの定住環境づくり】

いつでも、どこでも、誰でもが楽しく学び、その成果の発表やまちづくりへの活用による生きがいを感じられるまちづくりを進めます。



(2) 中央公園再整備プロジェクト

(町内定住の促進／「くみやま」魅力発信／安全・安心に向けて)

久御山まちなにわ構想※に基づき、『住－憩いと食が楽しめる魅力的な住環境づくり』×『農－農業を知り、学び、体験できる環境づくり』×『工－地産地食による健康な就業環境づくり』を行う拠点として、久御山中央公園のリニューアルを行います。(令和8年度完成予定)

※久御山まちなにわ構想 [R1.2 策定] 久御山中央公園とクロスピアくみやまを活用し、「食」戦略に基づく住×農×工の交流を促すためのビジョン。

《久御山中央公園再整備コンセプト》



多世代、多用途



スポーツ、健康



リラックス、居場所



発見、交流、体験

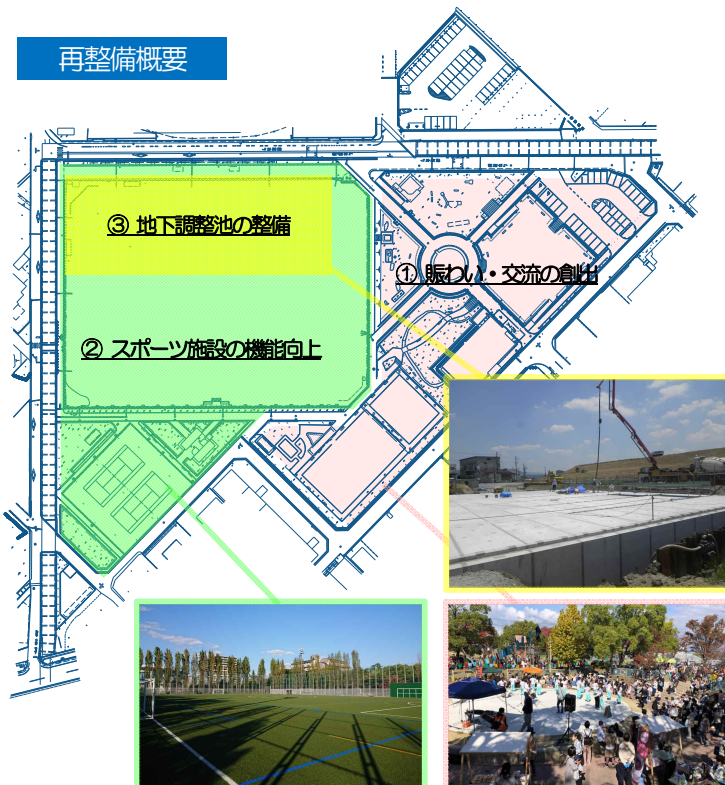


防災、環境

《想定コンテンツ・機能》

- 農業の魅力を知り、学び・体験できるエディブルガーデン（周辺農地との連携により実施）
- 収穫野菜等を使ったランチ等メニューを提供する飲食施設・キッチンカー拠点
- 地域住民が主体となって活動し、中央公園を活性化するイベントの実施（まちなのがっこう）

再整備概要



想定事業費：18億円

■公園エリア整備費	R7～8年度
■グラウンド整備費	R7～8年度
■地下調整池整備費	R6～7年度
■公園運営管理費	R6～8年度

- ① 地域主体組織が主催する体験・交流活動が実施しやすい公園整備
- ② 人気・ニーズの高いスポーツが楽しめる運動施設整備
- ③ グラウンド地下調整池（雨水貯留施設）整備

再整備により就業環境が向上

- ① 『くみやま まちなのがっこう』の開催
⇒ **従業員家族で参加可能なイベントの開催**
- ② 就業後のクラブ活動、企業運動会など
⇒ **スポーツを通じた社員交流**
- ③ 荒見都市下水路流域の浸水被害(5.81ha)を解消
⇒ **調整池の整備による浸水リスクの低減**

住・農・工を結び付け多様な人々の交流・活躍の場としての公園整備を応援いただける企業を募集します！

【寄附金の用途】久御山中央公園再整備に係る整備費用 など

【寄附企業への貢献】公園内に企業名をプレート設置等で明示 など

事業の詳細は町公式HPをご覧ください



第2期久御山町総合戦略におけるSDGs開発目標

【快適な環境の維持・創出】

豊かな緑が日常的に感じられるよう、身近な環境における公園・緑地等の積極的な整備を進めます。



3

すべての人に健康と福祉を

11

住み続けられるまちづくりを

13

気候変動に具体的な対策を

15

陸の豊かさも守ろう

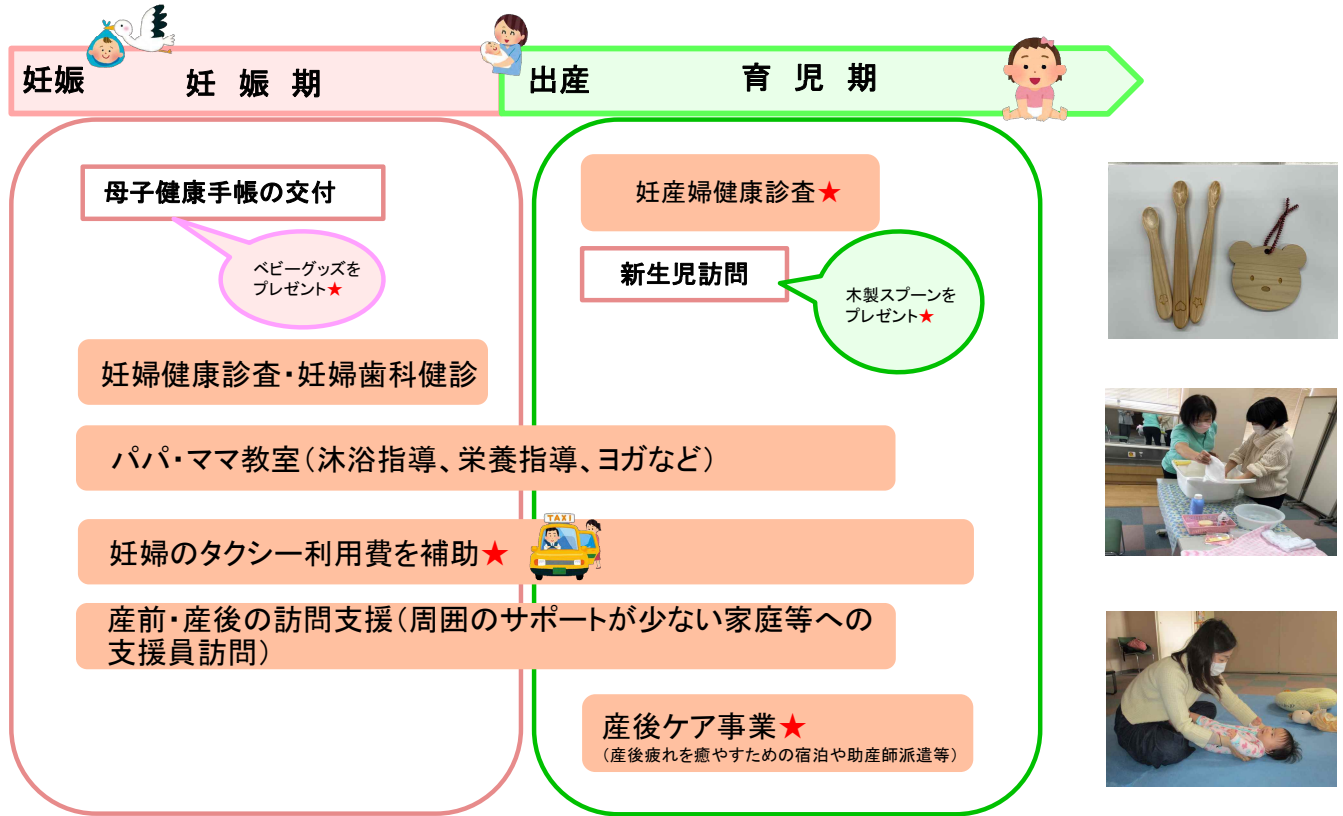
17

パートナーシップで目標を達成しよう

(3) 笑顔あふれる子育て応援プロジェクト（少子化対策と子育て支援）

～ 目指せ！ 年間 出生数 120人 ～

新しい命を迎えることは喜びや楽しみに満ちあふれる一方で、様々な不安や疑問を抱くものです。お母さん・お父さんが、笑顔いっぱい、赤ちゃんとの日々を過ごしていただけるよう、妊娠期や育児期に合わせたさまざまな支援をしています。



【令和元年度以降に実施した新たな支援策】

- ★妊産婦のタクシー利用支援事業
- ★産後ケア事業
- ★ベビーグッズ等のプレゼント（母子健康手帳交付時）
- ★木製スプーン等のプレゼント（新生児訪問時）
- ★産婦健康診査
- その他、不妊治療費助成事業（全額）
のってこ優タクシー事業を開始
- 現在、町独自で、0歳児の見守り訪問
「おむつ定期便」事業を実施検討中です

想定事業費：8,200万円

事業推進により従業員（久御山町在住）の子育て環境が充実
→ **仕事と家庭の両方が充実**
→ **仕事の効率アップ**

笑顔いっぱい子育てできるまちづくりの取組に応援いただける企業を募集します！

【寄附金の使途】 妊娠期や育児期に合わせた各種事業の運営 など

【寄附企業への貢献】 パンフレット等への企業名記載 など

事業の詳細は町公式HPをご覧ください



第2期久御山町総合戦略におけるSDGs開発目標

【結婚・妊娠・出産の支援】
若い世代が、結婚や妊娠・出産について前向きに考え、一人ひとりの希望が叶う社会の実現に向け、妊娠・出産に係る相談・支援や情報発信を進めます。



（４）歩くまち推進プロジェクト（町内定住の促進／「くみやま」魅力発信）

～全世代が「歩く」ことを一つのテーマとした健康長寿のまちづくり～

町全域に「歩く文化」が定着し、あらゆる人のライフスタイルにあった「歩く」が根付き、住民が自ら「歩く」を取り入れていただくことで、賑わいやコミュニケーションが生まれ、生涯にわたり心身が健康で笑顔あふれるまちの姿を思い描きながら、住民や企業・団体とも連携して事業に取り組んでいます。



想定事業費：2,500万円

- 従業員家族で参加可能なイベントの開催
- ①『歩くまち宣言記念イベント』等の開催
⇒ **事業推進による従業員の健康増進等**
 - ②『歩くまちシンポジウム』等の開催
⇒ **従業員が参加可能な健康増進講座の開催**
 - ③“歩く拠点”認定制度創設
⇒ **事業趣旨に賛同いただける企業が簡単に参画できる仕掛けづくりを構築**

『日常にもっと「歩く」を。「歩きたくなる」ひと・まちづくり』を基本理念に3つの基本方針を柱とし、5つの目標を掲げ10年後の目指すべき姿を明確に描きながら事業を進めています。

健康で笑顔あふれ、賑わいと活力に満ちたまちづくりの取組に応援いただける企業を募集します！

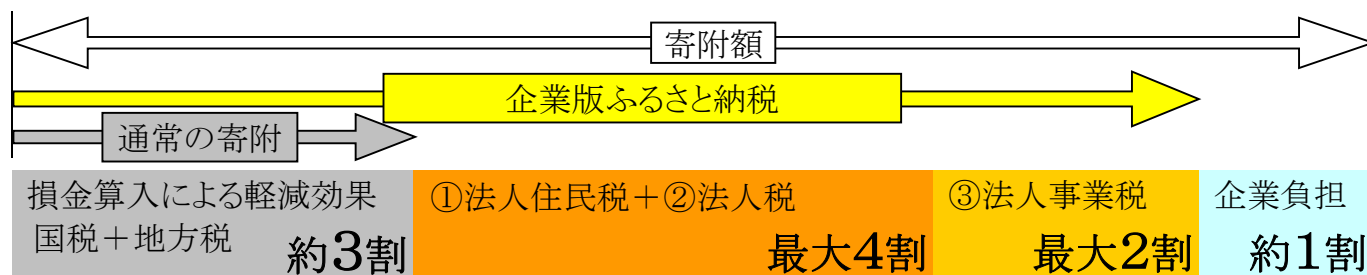
【寄附金の使途】久御山町公式ウォーキングアプリの運営 など

【寄附企業への貢献】アプリによる企業名の発信、アプリ啓発品への企業名記載 など

<p>「歩くまちくみやま」町公式動画 YouTubeで配信中</p>	<p>事業の詳細は町公式HPをご覧ください</p>	<p>第2期久御山町総合戦略におけるSDGs開発目標 【移動の利便性の確保】 平坦な地勢を生かした自転車や徒歩で移動しやすい環境づくりを進めます。</p>
--	---------------------------	---

～企業版ふるさと納税とは～

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、令和2年度税制改正により拡充された税額控除(寄附額の最大6割)により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。



①法人住民税

寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税額の20%が上限)

②法人税

法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)

③法人事業税

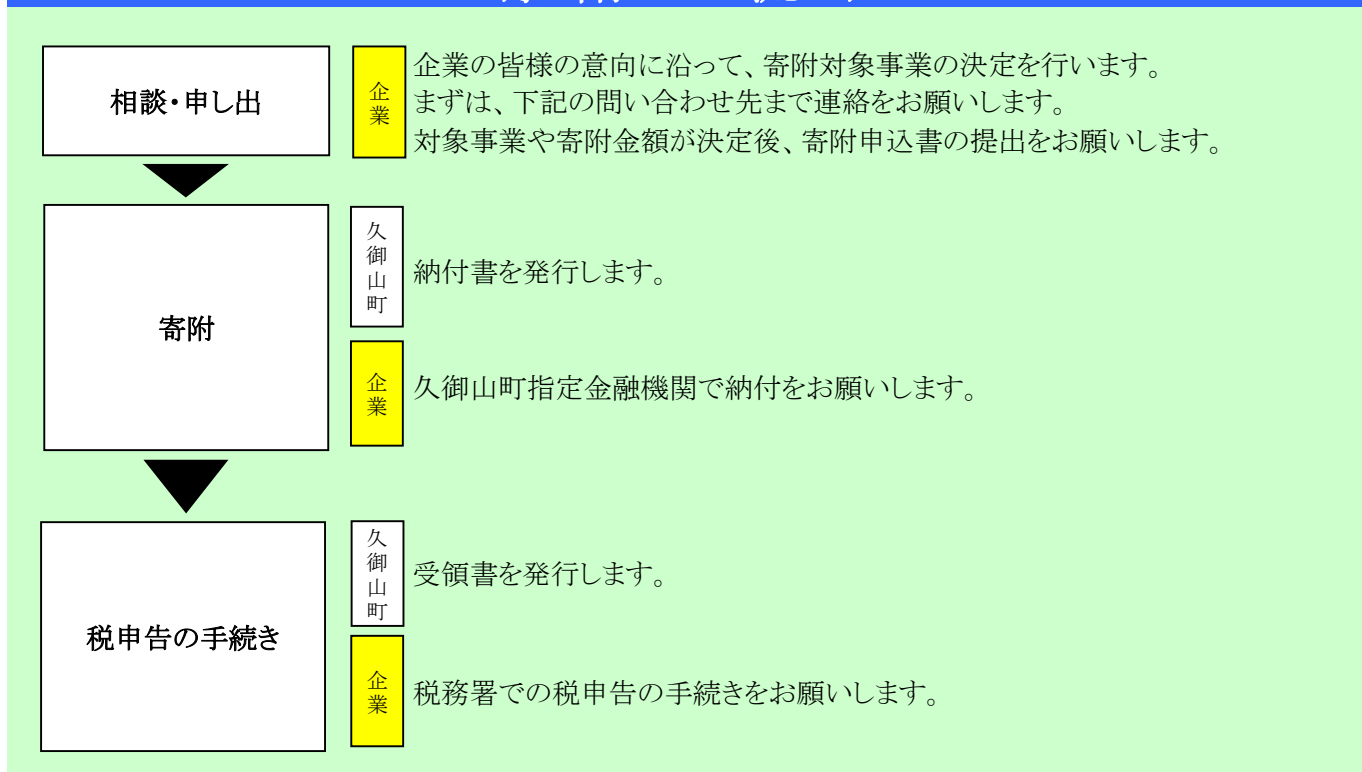
寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

※税額控除の手続(申告)や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

<制度活用に当たっての留意事項>

- 本制度を活用して久御山町へ寄附ができるのは、久御山町外に本社がある企業です。
- 1回当たり10万円以上の寄附が対象となります。
- 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

寄附の流れ



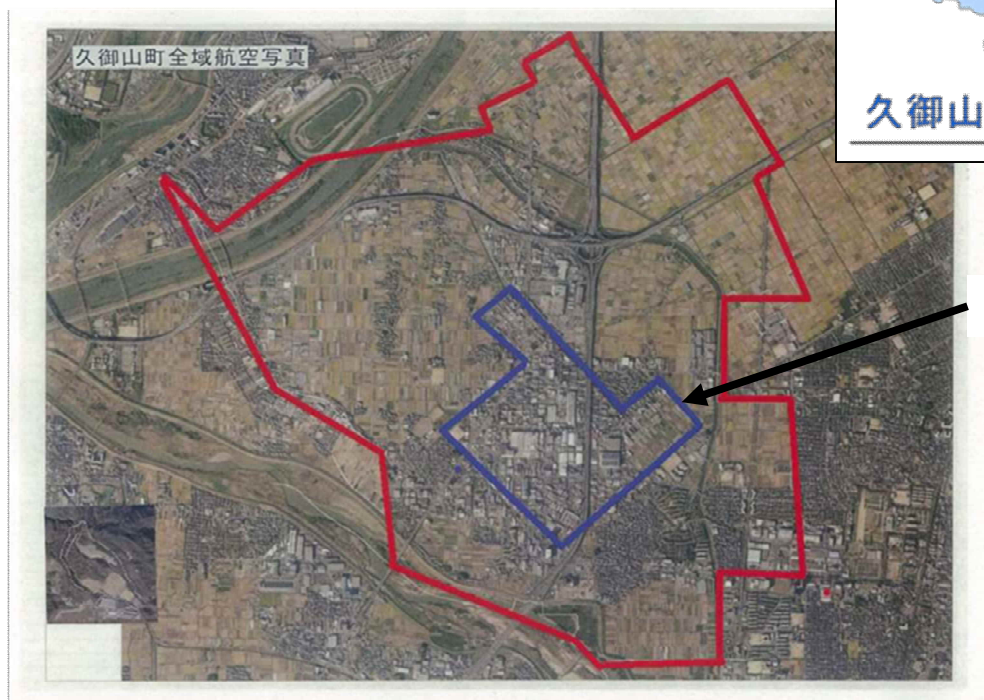
<問い合わせ先>久御山町総務部総務課秘書広報係

〒613-8585 京都府久世郡久御山町島田ミスノ38番地

TEL:075-631-9991/0774-45-3922 e-mail:somu@town.kumiyama.lg.jp

< 久 御 山 町 >

久御山町は、京都市の都心から南へ約 15km に位置し、北は京都市伏見区、東は宇治市、南は城陽市、南西は八幡市に隣接している。町域を国道 1 号、国道 24 号、京滋バイパスの幹線道路が通り、道路網が整備され、大阪、滋賀、奈良の交通の要に位置している。



< 地域再生計画記載事業 >

4 つの横断的プロジェクトのほか、以下の事業への寄附も可能です。

- ア 町内定住の促進事業
- イ 産業活力の発揮事業
- ウ 「くみやま」魅力発信事業
- エ 少子化対策と子育て支援事業
- オ 住民や企業との協働と連携事業
- カ 安全・安心に向けて推進する事業

【企業への貢献】

チラシ・パンフレットへの企業の記載や、設置施設でのデジタルサイネージ、プレートの表示などをプロジェクトに応じて検討します。

